

授業改善サポーターに求められる資質・要件

- : 授業コンサルテーションを実施するために、自ら学び手となり教員を理解する姿勢
- : 授業コンサルテーションの理論と実践を往還する力
- : 他校の教員と積極的にコミュニケーションを取る姿勢
- : コマシラバスの書き方（ガニエの9教授事象、学習目標の明確化）を理解していること

以下、詳細

(1) 授業改善サポーターの定義

- : 学内に指導力の向上の牽引をする授業コンサルテーションを実施できる人材
- : 授業改善や評価、教員のカウンセリングやコーチング、授業改善に関するアドバイスや提言の提供、教員の授業計画や教材の開発支援等が出来る人材

(2) 授業コンサルテーションの実態

- : 各学校にて授業コンサルテーションは実施されている
- : 特に、授業評価アンケートや授業内容の評価・検討するためのツール活用を通じた授業コンサルテーションが実施されている

(3) 授業コンサルテーションの課題

- : 教員の多忙化に伴い授業コンサルテーションを行う時間が確保できないこと
- : 授業コンサルテーションを受けた教員のモチベーションが低下してしまうこと
- : 授業コンサルテーションでのフィードバックを授業改善に活かさない教員がいること

(4) 授業改善サポーター養成講座の実施

- : (3)を受けて、以下の資質・要件を達成できるような授業改善サポーター養成講座を開発・実施した
 - : 授業改善サポーターとして、各種ツールを活用して授業改善のためのコンサルテーションを行うことが出来る
 - : 自校における授業コンサルテーションの普及を目指した施策を、個人レベル、組織レベルで提案することが出来る
 - : 授業改善サポーターとして相談し支援し合えるコミュニティを形成する
- 講座の開発によって、効率的に授業コンサルテーションが出来る人材を養成する
- 教員のモチベーションを保つような授業コンサルテーションを行えるようにする

(5)授業改善サポーター養成講座の開発・実施した結果、授業改善サポーターの資質・要件として、以下が令和5年度時点の最終的な仮説として立てられた。

- : 授業コンサルテーションを実施するために、自ら学び手となり教員を理解する姿勢
- : 授業コンサルテーションの理論と実践を往還する力
- : 他校の教員と積極的にコミュニケーションを取る姿勢
- : コマシラバスの書き方（ガニエの9教授事象、学習目標の明確化）を理解していること

以上